

令和2年度
2年次教員
フォローアップ研修の手引
小・中学校 教諭

福島県教育センター

目次

I	福島県教育委員会 2年次教員フォローアップ研修 実施要項	1
II	小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修概要	3
1	研修体系	3
2	研修の目的	3
3	研修の内容等	3
4	研修計画書・研修報告書及び課題研究計画書・課題研究報告書の提出について	4
5	研修の留意点	4
	【表1】 小・中学校2年次教員フォローアップ研修の流れ	5
	【表2】 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 提出書類一覧	5
III	小・中学校2年次教員フォローアップ研修 各種様式	6
	(様式1) 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修計画書	
	(様式2) 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修報告書	
	(様式3) 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 課題研究計画書	
	(様式4) 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 課題研究報告書	

※ 各種様式は福島県教育センターWebサイトに掲載されているので、ダウンロードして提出書類を作成すること。

I 福島県教育委員会 2年次教員フォローアップ研修 実施要項

福島県教育委員会

1 目的

2年次教員フォローアップ研修は、初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高めることを目的とする。

2 基本方針

本県における課題と教師に求められる資質や能力を踏まえ、2年次教員フォローアップ研修の対象となる教員（以下「研修対象教員」という。）一人一人の専門性の向上や得意分野を伸ばすなど、研修者のニーズに応じた実効ある研修を実施する。

3 対象

(1) 研修対象教員は、次のとおりとする。

- ① 福島県公立学校の教員で、初任者研修を修了し、新規採用後1年を経過した者
- ② 前年度までの該当者で、未受講の者

4 研修内容

研修対象教員は、校内における研修を30時間以上行い、校外における研修を3日間受ける。

(1) 校内研修

- ① 服務と勤務等、教員の資質向上にかかる研修（1時間以上）
- ② 計画的・継続的自主研修「課題研究」（24時間以上）
- ③ 指導助言が得られる研究授業（年間1回以上）等研修（5時間以上）

(2) 校外研修

- ① 企業等体験研修、社会奉仕等体験研修等（2日）
勤労にかかわる体験等を通して、資質の向上につながる研修
- ② 教科等指導研修（1日）
授業の改善及び指導力の向上を目指した実践的研修等

5 実施方法

- (1) 校長は、事前に個々の研修対象教員と協議し、年間の研修計画及び課題研究計画を作成する。
- (2) 校長が作成した個々の研修対象教員の研修計画及び課題研究計画は、市町村立小・中・特別支援学校においては市町村教育委員会に、県立学校においては県教育委員会に提出する。
- (3) 当該教育委員会は、校長より提出された研修計画及び課題研究計画について内容等の確認を行い、必要があれば調整等を行う。
- (4) 校長は、研修終了時に、研修報告書及び課題研究報告書を、当該教育委員会に提出する。
- (5) 校長は、(4)により報告した結果を以後の研修に反映させ、研修対象教員の継続的・発展的な指導力向上に努める。

6 指導体制

- (1) 校長、副校長及び教頭は、研修対象教員の研修実施に当たり、適宜適切な指導及び助言を行う。
- (2) 当該教育委員会は、校内研修等の実施に当たり、必要に応じて指導主事、管理主事及び社会教育主事等を派遣するなど研修の円滑な実施を図るとともに、適切な指導及び助言を行う。

7 校内体制

- (1) 校長は、研修対象教員が校外研修等を受けるに当たり、授業等に支障が生じないように配慮する。
- (2) 校長は、研修の実施に当たり、学校の協力体制を確立する。

8 提出書類

校長は、研修を実施するに当たり、以下の書類を当該教育委員会に提出するものとする。

- (1) 研修実施前
 - ① 研修計画書
 - ② 課題研究計画書
- (2) 研修終了後
 - ① 研修報告書
 - ② 課題研究報告書

9 補 則

この要項の実施に関して必要な事項は別に定める。

附 則

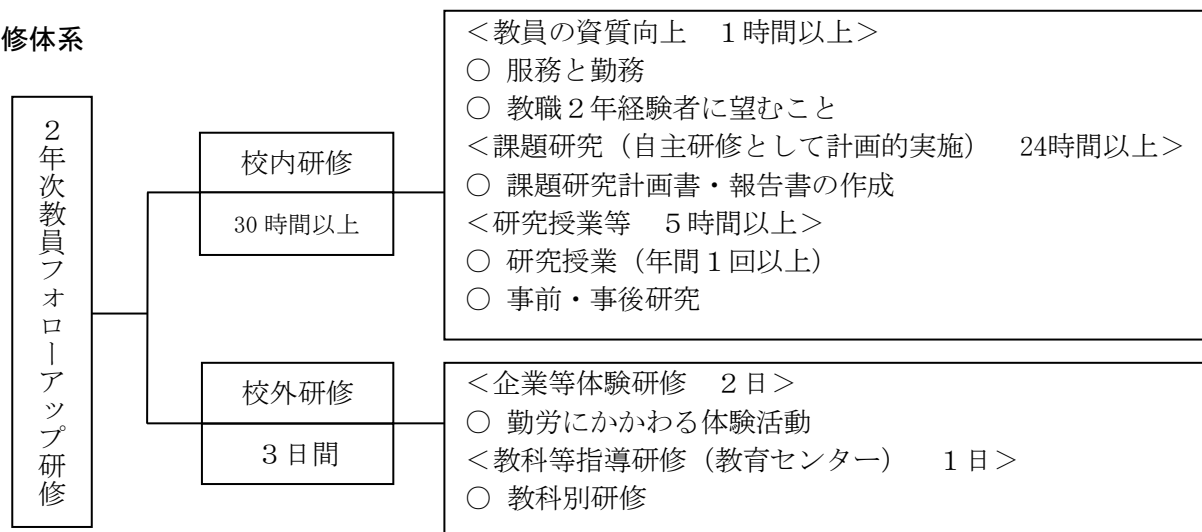
この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

平成 30 年 1 月 30 日 一部改正 平成 30 年 4 月 1 日から施行

Ⅱ 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修概要

1 研修体系



2 研修の目的

【小学校】

初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高めることを目的とする。

特に教育センターの研修においては、「国語」「社会」「算数」「理科」の中から1つを選択した教科別研修とし、授業研究などの実践的研修を通して教科の指導力向上を図る。

【中学校】

初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高めることを目的とする。

特に教育センターの研修においては教科別研修とし、授業研究などの実践的研修を通して教科の指導力向上を図る。

3 研修の内容等

(1) 校内研修・・・年間30時間以上、勤務校で計画し実施する研修

	研修名等	時数	内 容 例
①	教員の資質向上	1時間以上	○ 服務と勤務 ○ 教職2年経験者に望むこと 等
②	課題研究 (自主研修)	24時間以上	○ 課題研究の構想 ○ 課題研究計画書の作成 ○ 課題研究報告書の作成 等
③	研究授業 (年間1回以上)	5時間以上	○ 研究授業 ○ 事前・事後研究 等

(2) 校外研修・・・企業等体験研修（2日）、教科等指導研修（1日）

	内 容 例
①	<企業等体験研修> 長期休業期間中【2日】 ○ 勤労にかかわる体験活動等 ※各市町村教育委員会の計画による。(新規採用養護教諭及び新規採用学校栄養職員と合同で実施)
②	<教科等指導研修> 教育センター【1日】 ○ 教科別研修

4 研修計画書・研修報告書及び課題研究計画書・課題研究報告書の提出について

※研修の流れ、期日等は【表1】【表2】を参照

(1) 研修計画書及び課題研究計画書の提出について

- ① 研修対象教員が勤務する学校の校長は、「研修計画書（様式1）」及び「課題研究計画書（様式3）」の原本並びに写し2部を、指定期日までに市町村教育委員会に提出する。
- ② 市町村教育委員会は、「研修計画書（様式1）」及び「課題研究計画書（様式3）」の原本並びに写し1部を、指定期日までに教育事務所に提出する。
- ③ 教育事務所は、「研修計画書（様式1）」及び「課題研究計画書（様式3）」の原本を、指定期日までに教育センターに提出する。

(2) 研修報告書及び課題研究報告書の提出について

- ① 研修対象教員が勤務する学校の校長は、「研修報告書（様式2）」及び「課題研究報告書（様式4）」の原本並びに写し2部を、指定期日までに市町村教育委員会に提出する。
- ② 市町村教育委員会は、「研修報告書（様式2）」及び「課題研究報告書（様式4）」の原本並びに写し1部を、指定期日までに教育事務所に提出する。
- ③ 教育事務所は、「研修報告書（様式2）」及び「課題研究報告書（様式4）」の原本を、指定期日までに教育センターに提出する。

5 研修の留意点

(1) 研修対象教員にかかわること

- ① 教育センター研修における教科希望調査について（小学校研修対象教員）

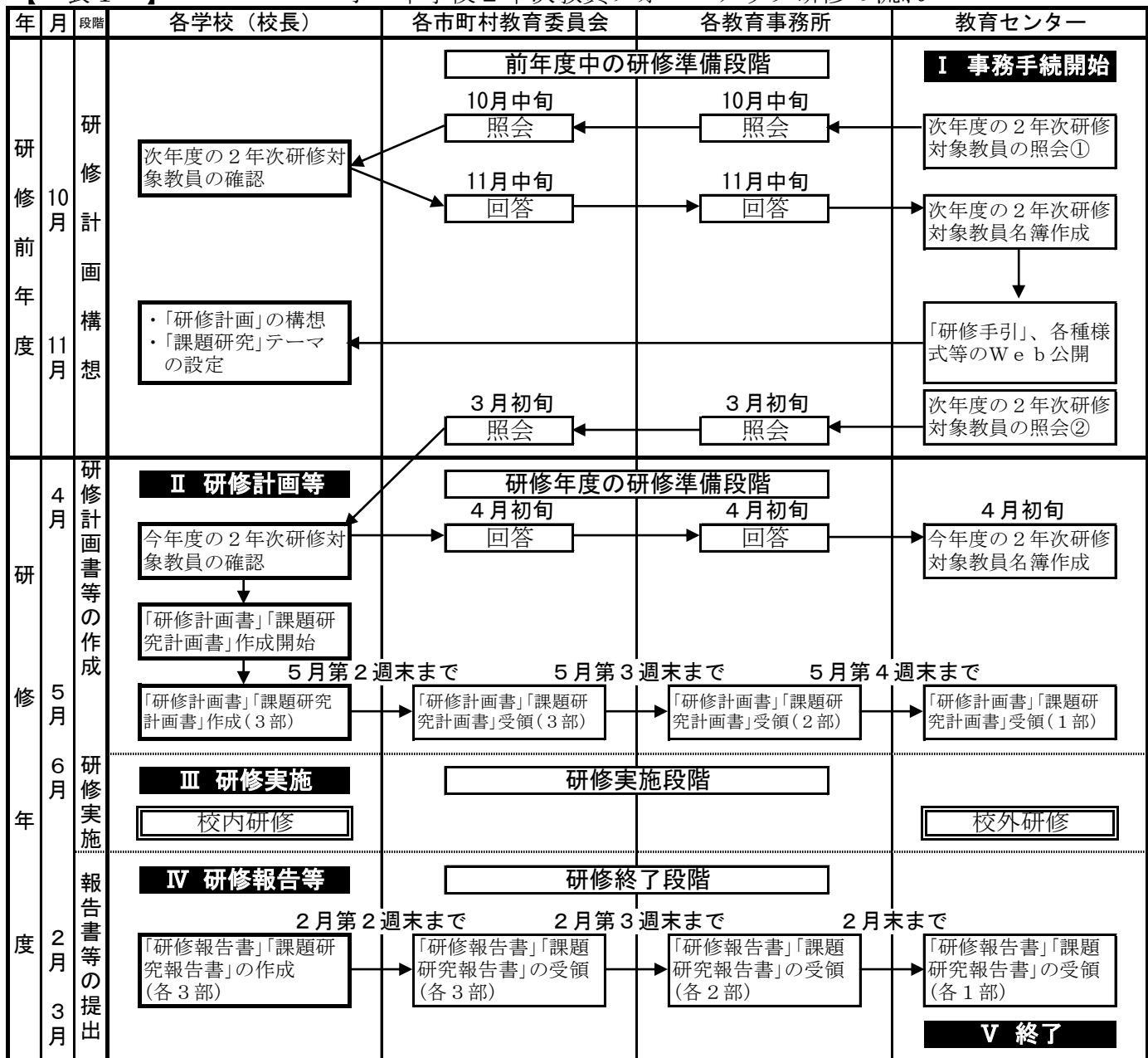
小学校の研修対象教員は、教育センターでの教科別研修において、「国語」「社会」「算数」「理科」の中から1つを選択して研修に臨むこととなる。

研修教科希望調査は、前年度10月頃に1回実施する。やむを得ない事情によっては変更することは可能であるが、教科の変更は班編制等に影響を及ぼすため、早めの連絡が必要である。

(2) 研修対象教員が勤務する各学校にかかわること

- ① 各種計画書及び報告書の作成に当たっては、所定の様式により、実施期日、実施内容について具体的に記述する。
- ② やむを得ない事情により当該年度に2年次教員フォローアップ研修を受けられない場合は、市町村教育委員会を通じて教育事務所長に報告する。その場合、該当者は次年度に受講する。
また、未受講研修がある場合は、次年度以降に改めて作成した計画書を提出した上で研修を実施し、その終了をもって2年次教員フォローアップ研修が完了したことになる。不明な点については、必ず市町村教育委員会、教育事務所に問い合わせる。
- ③ 研修対象教員が、研修参加者名簿作成後にやむを得ない事情で教育センター研修を欠席、遅刻、早退した場合、校長は、所定の変更願を、市町村教育委員会教育長を通じて教育事務所長へ提出する（別冊「研修講座案内」の研修者に関する変更願様式2-1による。）。

【 表 1 】 小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修の流れ



【 表 2 】 小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 提出書類一覧

提出者	提出先	提出期限	提出部数	提出書類	提出様式	
実施校 校長	市町村 教育委員会 教育長	年度当初	4 月初旬	1 部	研修対象教員照会に対する回答	所定様式
			5 月第 2 週末 (5 月 8 日)	3 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修計画書	様式 1
		3 部		小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究計画書	様式 3	
		年度末	2 月第 2 週末 (2 月 12 日)	3 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修報告書	様式 2
3 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究報告書			様式 4		
市町村 教育委員会 教育長	教育事務所 所長	年度当初	4 月初旬	1 部	研修対象教員照会に対する回答	所定様式
			5 月第 3 週末 (5 月 15 日)	2 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修計画書	様式 1
		2 部		小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究計画書	様式 3	
		年度末	2 月第 3 週末 (2 月 19 日)	2 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修報告書	様式 2
2 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究報告書			様式 4		
教育 事務所 所長	教育センター 所長	年度当初	4 月初旬	1 部	研修対象教員照会に対する回答	所定様式
			5 月第 4 週末 (5 月 22 日)	1 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修計画書	様式 1
		1 部		小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究計画書	様式 3	
		年度末	2 月末 (2 月 26 日)	1 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修報告書	様式 2
1 部	小・中学校 2 年次教員フォローアップ研修 課題研究報告書			様式 4		

Ⅲ 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 各種様式

(様式1)

令和2年度 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修計画書

学校名 _____
 校長名 _____ 公印
 対象教員名 _____

1 校内研修 (30時間以上)

研修項目	月	日	研修時間	研修内容	指導助言者等
教員の資質向上 (1時間以上)					
課題研究 (24時間以上)					
研究授業 (5時間以上)					
研修時間合計					

※指導助言者等について、未定の場合は空欄でよい。

2 校外研修 (3日)

研修項目	月	日	日数	研修内容
企業等体験研修 (2日)				
センター研修 (1日)				

(様式2)

令和2年度 小・中学校2年次教員フォローアップ研修 研修報告書

学校名 _____
 校長名 _____ 公印
 対象教員名 _____

1 校内研修 (30時間以上)

研修項目	月	日	研修時間	研修内容	指導助言者等
教員の資質向上 (1時間以上)					
課題研究 (24時間以上)					
研究授業 (5時間以上)					
研修時間合計					

2 校外研修 (3日)

研修項目	月	日	日数	研修内容
企業等体験研修 (2日)				
センター研修 (1日)				

(様式3)

令和2年度 課題研究計画書

学校名 _____
 氏名 _____

1 課題研究テーマ

2 研究テーマ設定の理由 (研究の趣旨)

3 研究仮説 (研究の見通し)

4 研究計画

(1) 研究対象

(2) 研究日程

4月	・課題研究計画書作成、提出	10月	
5月		11月	
6月		12月	
7月		1月	
8月		2月	・課題研究報告書提出
9月		3月	

(様式4)

令和2年度 課題研究報告書

学校名 _____
 氏名 _____

1 課題研究テーマ

2 研究テーマ設定の理由 (研究の趣旨)

3 研究仮説 (研究の見通し)

4 研究経過

(1) 研究対象

(2) 研究日程

4月	・課題研究計画書作成、提出	10月	
5月		11月	
6月		12月	
7月		1月	
8月		2月	・課題研究報告書提出
9月		3月	

5 研究の実際と考察

6 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

(2) 今後の課題